

問いがつながり、ふるさとの価値を再発見する探究の軌跡

～佐野川の教材化を通じた、地域に誇りと愛着をもつ子の育成～

長野県 千曲市立治田小学校 久保 文靖

【1】 研究の動機と地域の課題 なぜ「佐野川」なのか？

学校近辺を流れる佐野川は、酸性のため「生き物が住めず田畑にも使えない」というマイナスイメージがあり、教材化が避けられてきた。あえてこの川を教材化し、子どもたちが「問い」を解決していく過程で、地域の価値を再発見し、「ふるさとへの誇りと愛着」を育みたいと考えた。

【2】 本当の「問い」の立ち上がり

「学校の田んぼの水はどこから？」という投げかけから、地域の方に聞き取りをすると、佐野川の水ではなく、電気代をかけて千曲川から汲み上げている事実を知る。

「佐野川は、鉍毒水で生き物に適さない。」本当なのか調べに行きたい

第1回探検（学校横の佐野川）：
実際に川へ行き、蟹沢川と比較。



「本当に佐野川には生き物がない」「水が赤い」ことを五感で実感し、「なぜ？」**「上流に赤くする鉍山があるかもしれない」**という主体的な問いへとつながっていった。

【4】 深まる探究：幻の鉍山と「金」調査



第2回探検（梵天山鉍山）：戦時中の軍事用「ろう石」や「鉄鉍石」の採掘跡を確認。地層が他県の金山とつながっている可能性を知る。

第3回探検（佐野川上流砂金採り）

：事前に調べたやり方でパンニング（選鉍）に挑戦。町田啓先生（上田六中）に講師として来てもらい、実際に「金」の粒子を発見した。



【3】 教科横断活動：大根販売プロジェクト

上流に調べに行きたいが、親に迷惑をかけたくない。バス代等を自分たちで賄うため、**「大根を育てて売ればいい！」**プロジェクトも鉍山や鉍毒などの調査と並行して開始。

理科：種まきと肥料、害虫の対策など育て方。

算数：販売価格の見積もり計算

社会：全国販売価格やスーパーでの市場価格調査。

ICT (Canva)：大根予約販売



チラシやポスターの作成。
この技術を姉妹学級の2年生に教えることで、自己有用感も高まった。

【5】 誇らしい川：子どもたちの変容

「2学期前は佐野川を気にも留めていなかったが、調べれば鉍山や砂金など、こんなにすごいことがある誇らしい川なんだと実感した」

「治田町は鉍物やまだ解明されていないことがあるから、ぼくのふるさはすごいんだと自慢できる」

「自分が学んだ Canva の技術で2年生の役に立ててすごく嬉しかった」

↓ (自己有用感の向上)
地域の人に伝えたい
地域公開参観日・公民館へ。



【6】 成果と地域への広がり：地域公開参観日の砂金採り講座・公民館での学習発表

地域公開参観日で児童が指導者になって砂金採り体験講座。公民館で一般の方へ学習発表。

地域の変容：新聞記事を見た地域の方から**「佐野川は生き物が住めず肩が狭い思いをしてきたが、子どもたちの活動で勇気もらった。満更じゃないとわかった」**との電話等が届き、公民館にも大勢の人が聞きに来てくれた。また、鉍山探検や砂金採りに同行した地域の方が**「この歴史を整備して残したい」**と市役所に要望を出すなど、地域全体の誇りへと広がりを見せている。

